

Imaging Team

掲載内容

営業情報

- ImageXpress Micro スペシャルキャンペーンのご紹介(2015年6月末納品分まで)
- Lumen Dynamics(Excelitas)社製 X-Cite 110LED/120LED MD モデルの販売開始
- DOC Cam シリーズの機種比較リストを Web からご確認いただけます
- X-Light V2 のご紹介

技術・サポート情報

- Andor 社製 光刺激装置 MOSAIC3 のドライバを更新しました

はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

- Device Control ツールバー

営業情報

ハイコンテツスクリーニングシステム ImageXpress Micro の特別キャンペーンを期間限定で始めました

高性能を維持したままで、6月末納品分までの期間限定で通常価格¥22,258,000-のIXMをなんと¥9,250,000-で販売を開始しました。ハードウェア構成内容としては、対物レンズ(4x/10x/20x/40x)蛍光フィルターキューブ(DAPI/FITC/TRITC/TexasRed/Cy5)に画像取得解析兼用ワークステーションPCが付属されています。

是非ともこの機会に導入のご検討をお願いします。

なお、MetaMorph からお使いになられているデータ取得モジュールや Journal 機能を併用した画像取得・解析も基本可能となっておりますが、詳細は担当営業までお問い合わせください。



The banner features a blue and white microscope unit on the right. The background is a collage of colorful fluorescence microscopy images. The text 'ImageXpress Micro' is prominently displayed in white, with 'ハイコンテツスクリーニングシステム' below it. Large orange text reads '高性能はそのまま、キャンペーン価格にてご提供'. Below this, in smaller black text, it says '2015年1月~6月末納品分まで'.

通常価格
¥22,258,000 が

¥9,250,000

セット内容

- ・搭載対物レンズ：4x, 10x, 20x, 40x
- ・搭載蛍光フィルターキューブ：DAPI, FITC, TRITC, TexasRed, Cy5
- ・画像取得解析兼用ワークステーション1台
- ・アプリケーションモジュール1本(各種アプリケーションモジュールから選択)

高性能

- 12 bit 冷却CCDカメラ
- キセノンランプ光源
- レンズ4本搭載、5色蛍光
- 各種マルチウェルプレート、スライドサンプルに対応
- 高精度XYZステージ：Zスタック、画像タイリング対応
- 別途オプションの追加によりアップグレードが可能*

* オプション内容・価格についてはお問い合わせください

**2段長、1視野撮影の場合露光時間により撮影時間は変化します

簡単

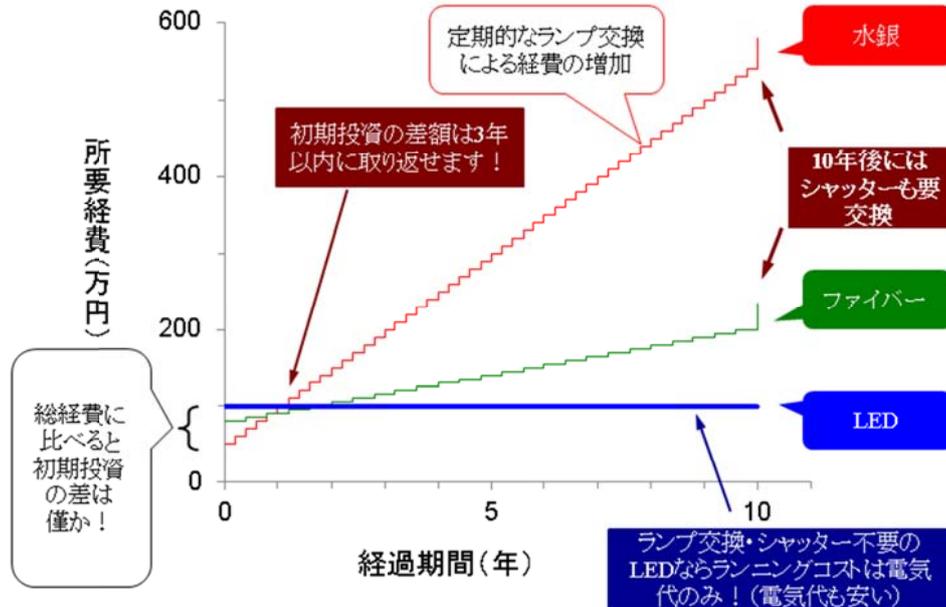
- 簡単操作で画像取得・解析

高速

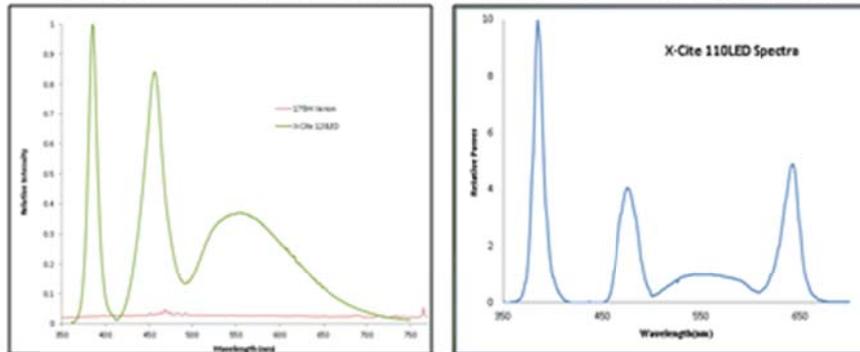
- 96ウェルプレート撮影3~5分**

X-Cite 110LED/120LED MD モデルを特別価格で販売を開始しました

高輝度白色 LED 光源として絶大なる信頼を得ている Lumen Dynamics 社の X-Cite シリーズ LED 光源を日本のユーザ様向けに特別パッケージを MDJ で作成しました。発売当初からの定価を大幅におさげしてのご提供となりますので、現在の水銀、高圧水銀、キセノン、メタルハライド光源を最新の LED ユニットへ是非とも更新してください。



120LED-MD(175W キセノン光源比較)と110LED-MDユニットの輝度グラフ例



LED 光源導入後の費用概算

	導入費用	1年後	3年後	5年後	10年後
水銀光源	297,000-	697,000-	1,497,000-	2,297,000-	4,297,000-
水銀光源 +シャッター	827,000-	1,227,000-	2,027,000-	2,827,000-	5,047,000-
ファイバ光源	579,500-	729,500-	1,029,500-	1,329,500-	2,079,500-
ファイバ光源 +シャッター	1,109,500-	1,259,500-	1,559,500-	1,859,500-	2,829,500-
120LED-MD	880,000-				
110LED-MD	680,000-				
110LED-MD +コリメータ	800,000-				

条件: 光源の年間使用時間は、1日8時間、月20日で年間約2,000時間を使用すると仮定した
 シャッターは10年後にシャッター部のみを交換すると仮定した
 水銀ランプは200時間の寿命とし、ファイバ光源ランプは2,000時間の寿命で計算した

DOC Cam シリーズの機種比較リストを Web からご確認いただけます

小型、安価ながら非常に高い量子効率(感度)を持ち、市場で高いご評価を頂いている CCD カメラ DOC Cam シリーズですが、感度、カラー、モノクロ、転送速度など様々な機種をご用意しています

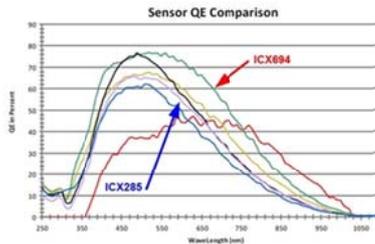
お客様のニーズにはどの機種が良いかどうかを確認しやすいように、弊社 Web サイトに DOC Cam シリーズの機種比較一覧表を作成いたしました。

弊社 Web ページのカメラの項目の最下部にリンクがございます

http://www.nihonmdc.com/pages/UIC/MetalImaging_Camera.html



DOC-CAM HR



主な仕様

素子数	2796 x 2192 (4.54 x 4.54 μm)
センサーサイズ	12.421 x 9.952 mm
最高読み出し速度	11FPS (8bit読み出し時) 8FPS (16bit読み出し時)
転送レート	800 Mbit/s
A/Dコンバータ	14bit
ROI読みだし	可能
ビンニング設定	x1, x2, x4

DOC-CAM HRにはこの他、様々な解像度、カラー/モノクロ、また CMOSタイプもご用意しています。
機種による比較解像画像をご用意しました。
感度面、視野角、色再現性等を機種間でのご比較検討にご利用ください。

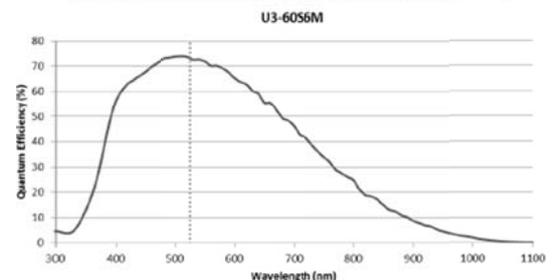
(←機種一覧表は [こちらをクリック](#) **クリック**)
(←サンプル画像比較は [こちらをクリック](#) **CLICK**)

DOC CAM HRシリーズ 機種比較表

DOC CAM HRシリーズはセンサーの種類により多彩なラインナップを用意しております
以下に各機種のセンサー名、サイズ、価格、また、一部機種にはサンプル画像を用意しております

カメラモデル名	センサーの種類(一部サンプル画像有)	センサーサイズ	解像度	素子サイズ(μm)	定価(税抜)
UG-14S5M-C	Sony ICX285 mono	2/3"	1384x1036	6.45	330,000
UG-14S5C-C	Sony ICX285 color	2/3"	1384x1036	6.45	330,000
UG-23S6M-C	Sony IMX174 mono	1/1.2"	1920x1200	5.86	250,000
UG-23S6C-C	Sony IMX174 color	1/1.2"	1920x1200	5.86	250,000
UG-28S4M-C	Sony ICX887 mono	1/1.8"	1928x1448	3.69	250,000
UG-28S4C-C	Sony ICX887 color	1/1.8"	1928x1448	3.69	250,000
UG-28S5M-C	Sony ICX674 mono	2/3"	1920x1440	4.54	380,000
UG-28S5C-C	Sony ICX674 color	2/3"	1920x1440	4.54	380,000
UG-41C6M-C	CMOSIS CMV4000-3E5 mono	1"	2048x2048	5.5	270,000
UG-41C6C-C	CMOSIS CMV4000-3E5 color	1"	2048x2048	5.5	270,000
UG-41C6NIR-C	CMOSIS CMV4000-3E12 NIR	1"	2048x2048	5.5	270,000

	Video Mode 0	Video Mode 7
Frame Rate (FPS)	13 FPS	7.5 FPS
Pixel Clock (MHz)	54	54
ADC (Bits)	14-bit	14-bit
Quantum Efficiency (% at 525 nm)	73	75
Temporal Dark Noise (Read Noise) (e-)	10.73	10.10
Signal to Noise Ratio Maximum (dB)	41.67	41.82
Signal to Noise Ratio Maximum (Bits)	6.92	6.95
Absolute Sensitivity Threshold (γ)	15.49	14.35
Saturation Capacity (Well Depth) (e-)	14697	13220
Dynamic Range (dB)	62.34	63.14
Dynamic Range (Bits)	10.35	10.49
Gain (e-/ADU)	0.23	0.24



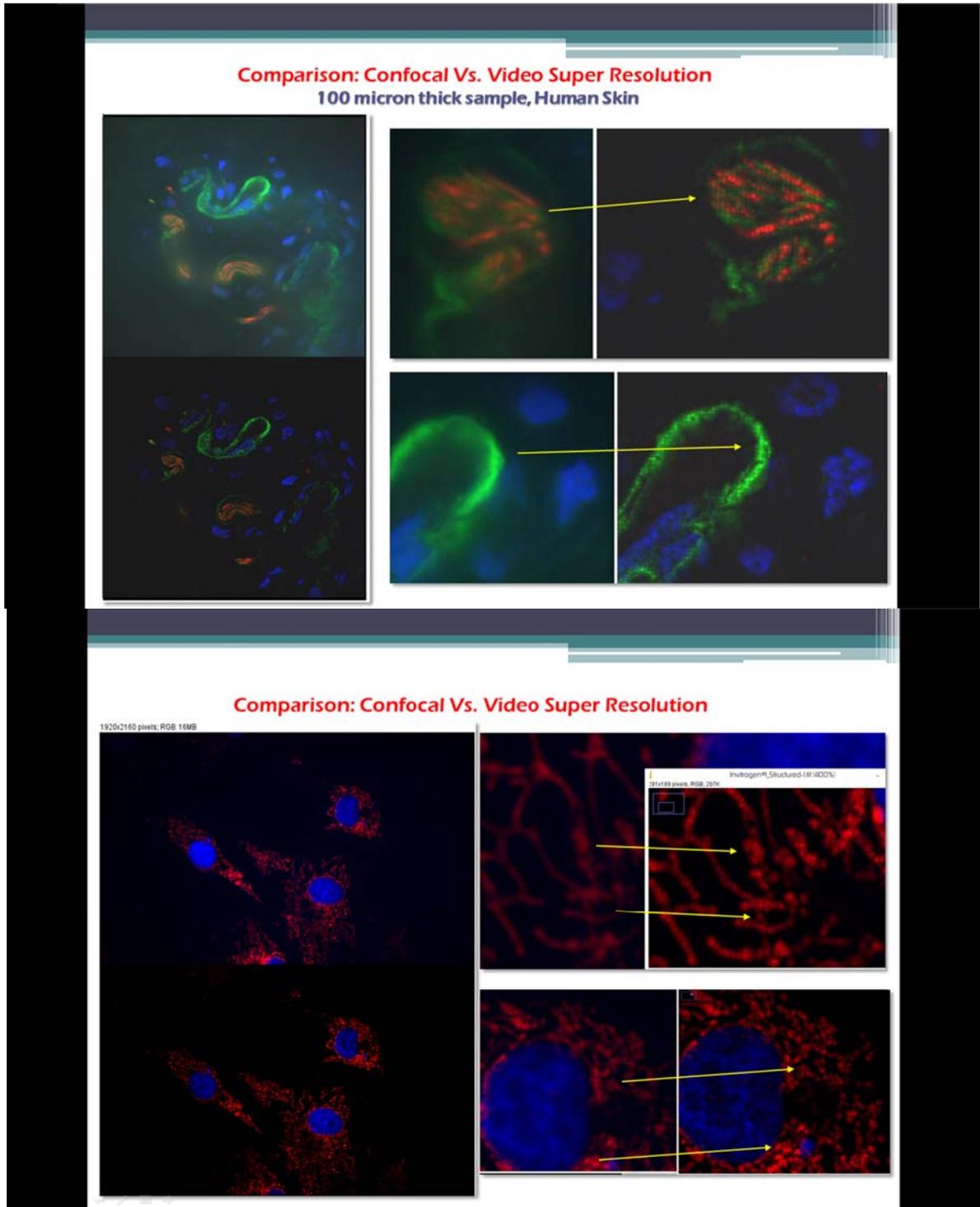
http://www.nihonmdc.com/pages/UIC/DOC_CAM_Spec/DOC_CAM_Spec.html

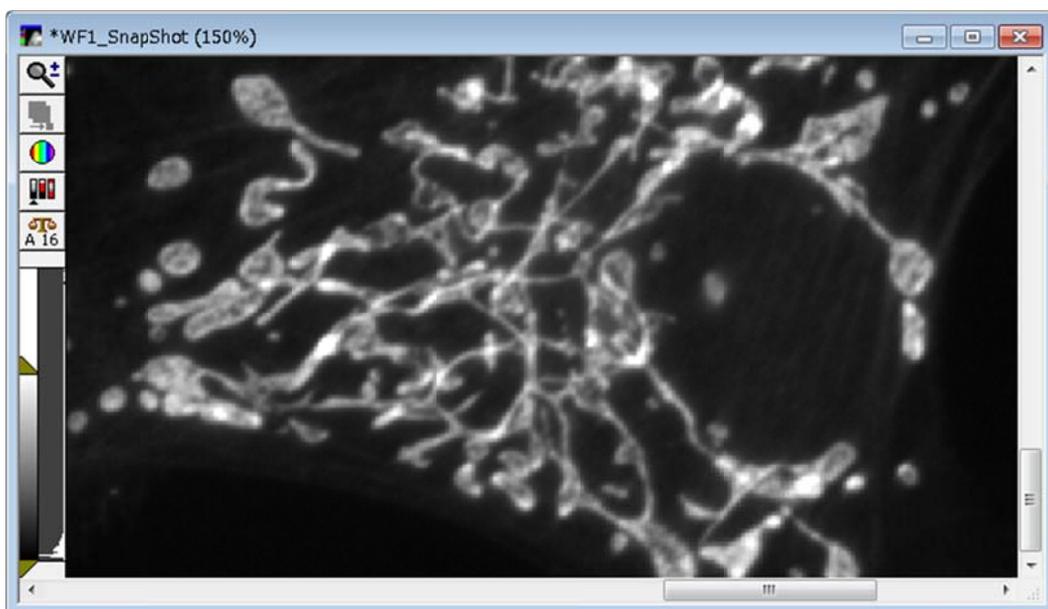
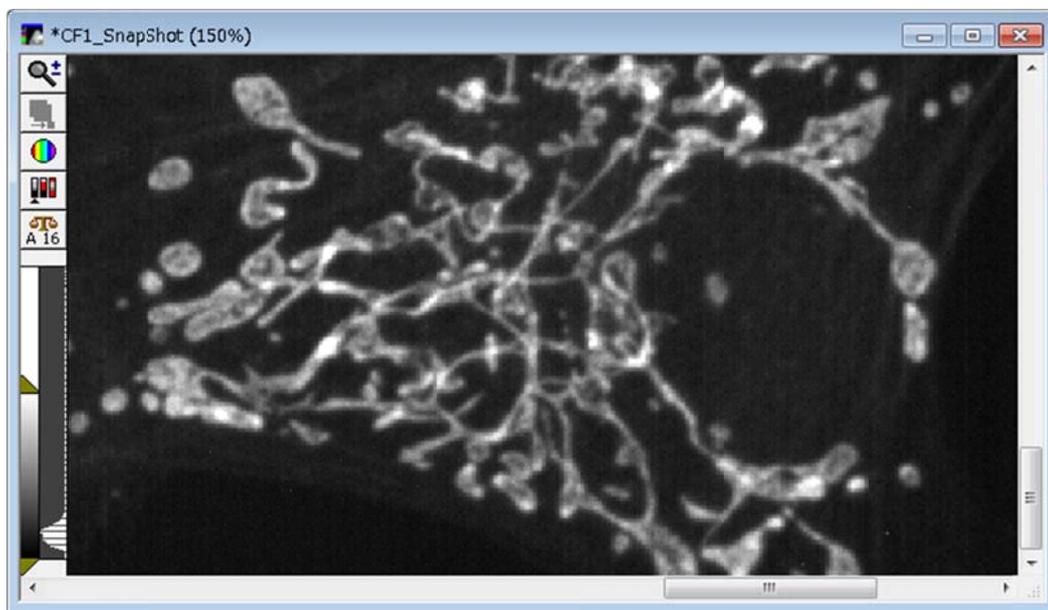
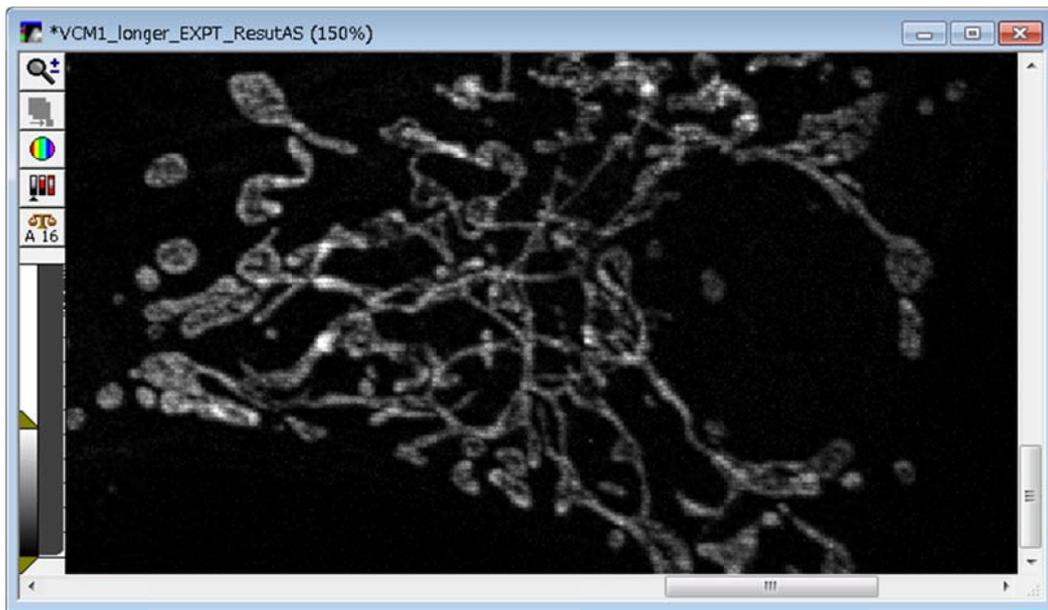
こちらから現在リリースされている DOC Cam シリーズのラインナップと仕様また、一部のカメラにはサンプル画像もダウンロード可能ですので、是非ご利用ください。

X-Light V2 コンフォーカルユニットのご紹介

ディスクキャンコンフォーカルユニット X-Light に新しく V2 モデルが加わりました
V2 モデルでは励起側のスループットを向上させました、オプションでストラクチャイルミネーション
ユニットが追加できるようになっています。詳細は担当営業までお問い合わせください。

※Widefield/Disk Confocal/Sub Super Resolution の切り替えが可能です





技術・サポート情報

Andor 社製 光刺激装置 MOSAIC3 のドライバを更新しました



レーザーや高輝度光源等の光を任意の領域に照射できる Andor 社製の光学ユニット MOSAIC3 のドライバが更新されます。

これにより、MetaMorph でさらに快適かつ容易に光刺激系の実験が可能となります。

本ドライバは近日リリース予定の Version 7.8.9 でリリース予定です

Configuration	#	Regions	Image	Image Name	On (msec)	Off (msec)	Loop
Location	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Targeted Illumination	1000.000	1000.000	1
Location	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Targeted Illumination	500.000	1000.000	1
Location	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Targeted Illumination	500.000	1000.000	1

はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

Device Control ツールバー

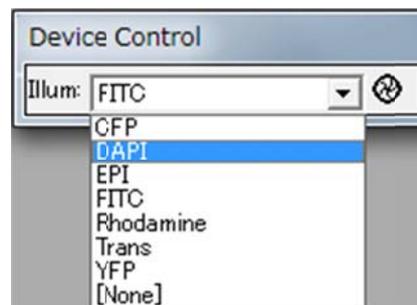
今回は、Device Control ツールバーについて記載します



または



通常 MetaMorph (MetaVue) に上記のようなツールバーが表示されているかと思えます (制御しているハードウェアによって表示が異なります)



Illum と記載されているところがありますが、これはあらかじめ Configure Illumination で設定した Illumination 名を変更する場合に使用します

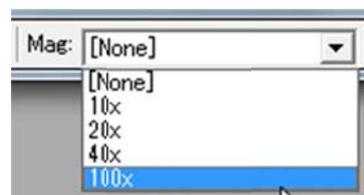
プルダウンで記載されているものを選択しますと、フィルターホイール等がその設定に変わります

上記では DAPI が選択されていますが、これにより励起用、吸収用フィルターホイール、シャッター等が DAPI で使用するポジションに移動させることができます



上記の矢印先にシャッター開閉のボタンがあります。これを押す毎にシャッターの開閉を行うことができます。開閉によってボタンの表示が変わります。

開閉するシャッターは Illum で選択されている Illumination 名で設定されているシャッターになります (Configure Illumination で設定します)



上記 (Mag) は対物レンズを変更する場合に使用します

Configure Magnification で設定した名称を選択することにより、対物レンズを変更することができます

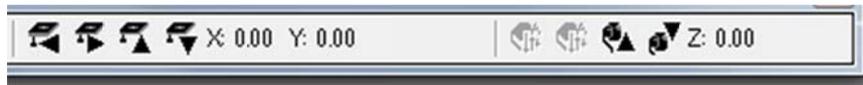
電動顕微鏡等で対物レンズがソフトウェアから制御されている場合は、選択しますと対物レンズが動きます

電動のコンデンサーも同時に動かすことができます

対物レンズが手動の場合も使用します

あらかじめ対物レンズ毎の距離構成(Calibrate Distance)を行っている場合、各対物レンズを選択しますと、その後取得されます画像に選択されている対物レンズの距離情報が入ります。これにより、解析機能で測長(面積)を行った場合に、ピクセルではなく構成された長さ(um や mm)で表示することができます

(手動の場合は、実際に使用している対物レンズと表示されている対物レンズが異なると、正しい長さが表示されませんのでご注意ください)

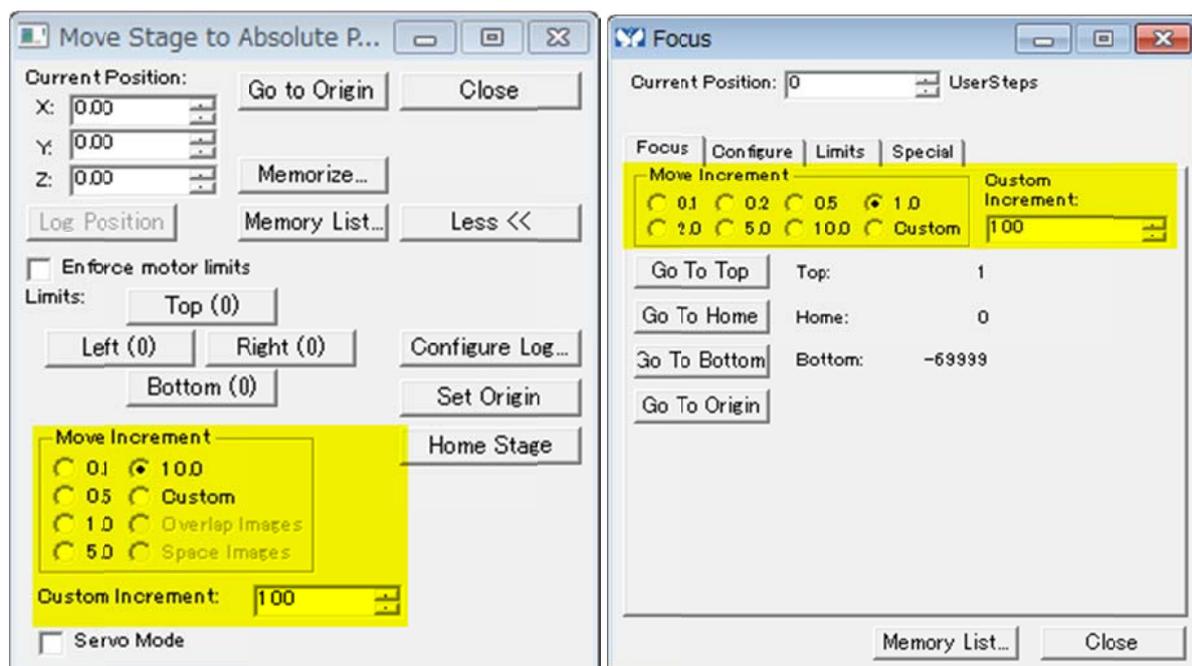


上記では、電動 XY ステージの移動と電動フォーカス(Z 方向)の移動を行うことができます
左側の 4 つの矢印が XY ステージの移動を行います。

一回のクリックでの移動距離は、下記に示します **Move stage to Absolute Position** ダイアログ(Devices メニュー、Stage)の **Move Increment** で指定した量になります

右側の 2 つの矢印がフォーカス方向の移動を行います。

一回のクリックでの移動距離は、下記に示します **Focus** ダイアログ(Devices メニュー、Focus、Focus タブ)の **Move Increment** で指定した量になります



以上